

2012年2月1日

関係各位

一般社団法人 電子情報技術産業協会
安全委員会
委員長 杉本 満則
安全推進専門委員会
委員長 岡本 正

「テレビ／モニターの転倒・落下防止対策」に関するお願い

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊会の製品安全に関する諸事業に関し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年3月に発生した東日本大震災を受け、弊社安全委員会では、平成23年9月に、製品安全ホームページの「転倒・落下防止対策」に関し、記載内容の一部を修正・拡充致しました。

弊社では、本ホームページの内容を一人でも多くの方々にご覧頂き、適切な転倒・落下防止対策を実施頂くようご協力をお願いしているところであります。

来月は、東日本大震災から、ちょうど1年の節目を迎え、一般家庭の地震対策への関心の高まる中で、関係官庁、団体のお力添えも頂きながら、転倒・落下防止対策の周知と実施につきまして、積極的に取り組みたいと考えております。

つきましては、この度、該当ホームページ上に、「電子パンフレット(PDFファイル)」を掲載し、その内容をパソコン画面上だけでなく、紙面としてご家庭で簡単に印刷が可能なよう利便性の向上を図りました。

テレビ／モニターの設置に関しましては、本パンフレットを参考に、改めて転倒・落下防止対策を確認頂きますようお願い申し上げます。

関係各位に於かれましては、弊会の本ホームページの周知活動につき、ご支援・ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

敬 具

<添付文書>

- ・“地震に備え「テレビの転倒・落下防止対策」を”（電子パンフレット(PDFファイル)）
－JEITA「製品を安全にお使いいただくために」ホームページより－
<http://www.jeita.or.jp/japanese/anzen/index.html>

<掲載予定日>

- ・平成24年2月1日(水)

【事務局】

一般社団法人 電子情報技術産業協会
知的基盤部 安全グループ 白川 治／三武 佳生／渡部 由香
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル
電話03-5218-1059 E-mail : o-shirakawa@jeita.or.jp

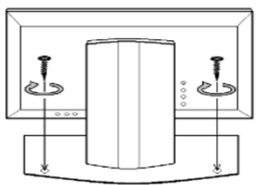
以 上

地震に備え「テレビの転倒・落下防止対策」を

地震での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行なってください。

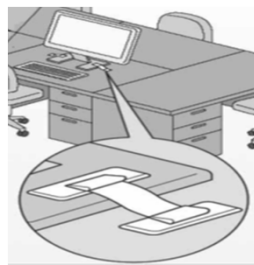
転倒・落下防止対策の実施例

薄型テレビ／モニター

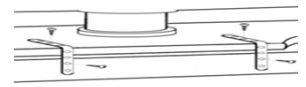
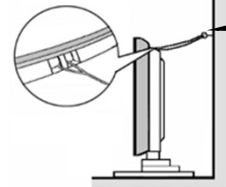


木ネジかボルトで、テレビ本体をテレビ台と連結する。

液晶モニターの台座をストラップ式器具で固定する。

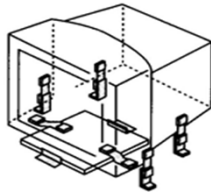


薄型テレビ等に付属の転倒防止バンドを使用して取り付ける。

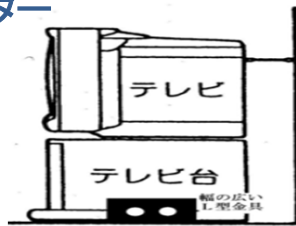


薄型テレビ本体と壁を丈夫なひもとヒートン等で連結する。

ブラウン管テレビ／モニター

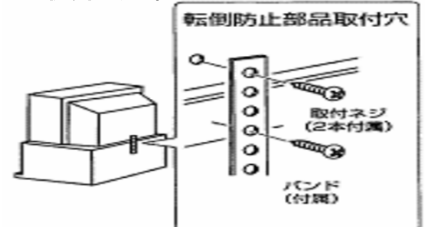


ブラウン管モニターを複数のストラップで固定する。



テレビと壁を、ロープとヒートンを使って連結し、テレビ台と床を幅の広いL型金具で固定する。

テレビの転倒防止部品取付を利用し、台座のしっかりした部分と、バンドで取り付ける。



設置上の注意

- ・製品の取扱説明書に従って、転倒・落下防止対策を行なう。
- ・高いところに製品を置かない。
- ・不安定なところに製品を置かない。
- ・台から製品をはみ出して設置しない。(製品より大きい台を使用)
- ・万一転倒した場合に備えて、就寝場所や避難障害となる所に製品を置かない。

転倒・落下防止対策

- ・転倒防止バンドや丈夫なひもなどで台や壁・柱などに固定する。
- ・粘着性マットを利用する場合は重量、台座の形状のほかに底面の凹凸にも注意する。(凹凸が大きいと粘着しない)
- ・壁等とヒートンで固定する場合は壁の強度と、テレビの重量に耐えるヒートンやひもの太さ、強度を確認する。
- ・製品台を使用する場合は、可能な限り床や壁などに固定する。

使用されているテレビの取扱説明書をご確認ください。

JEITA製品安全ホームページ <http://www.jeita.or.jp/japanese/anken/shinsai/index.html>